

新型コロナワクチン接種について

第13報

妊産婦、受験生等の優先接種が進んでいます！若い世代も積極的な接種を！

◎新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大を受け、妊産婦の新型コロナウイルス感染症の発症予防、重症化予防のため、妊産婦とその同居家族への新型コロナワクチン優先接種を進めています。

◎また、これから受験等を控える市内在住の中学3年生や高校3年生等の学生を対象に、安心して受験等準備を行っていただくため、優先接種を進めています。

妊産婦の人へ

2回目接種日は

1回目9月18日接種者は
10月9日(土)

1回目9月25日接種者は
10月16日(土)

会場は神林農村環境改善センターです。

※今回の優先接種に間に合わなかった人、これから母子健康手帳を申請される人は、なるべく早く接種できるようご案内しますので、コールセンターまでお問い合わせください。



受験生等の人へ

2回目接種日は

1回目9月18日接種者は
10月9日(土)

1回目9月25日接種者は
10月16日(土)

会場は神林農村環境改善センターです。

※今後12歳になる人で受験を予定している人、予定が変わって今後受験することになった人は、なるべく早く接種できるようご案内しますのでコールセンターまでお問い合わせください。



◎全国で変異株が拡大し、若い世代の中等症・重症患者や子どもの発症、家庭・職場内での感染が増えています。新型コロナワクチンは、接種することで発症や重症化を防ぐ効果が期待できるとともに、家族や友人など周りの大切な人たちを感染症から守ることができます。感染拡大防止のため、積極的な接種をお願いします。

ワクチン接種後も感染予防対策の徹底をお願いします！

◎ワクチンを接種することで、接種した人の発症を予防する効果だけでなく、感染を予防する効果も示唆するデータが報告されていますが、その効果は100%ではありません。

◎全国で感染が広がっている変異株は、これまでのウイルスよりも感染力が強いという特徴があります。ワクチン接種の後でも3密がそろう場面だけでなく、1つの密でも感染リスクはあります。基本をより念入りに、手洗いを徹底し、マスクをすき間なく着けてください。引き続き基本的な感染予防対策を徹底するようお願いいたします。



マスク着用

「密」
の回避



手指消毒

新型コロナワクチンとインフルエンザワクチン等の接種間隔

◎新型コロナワクチンとインフルエンザワクチン等は、同時に接種できません。新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンやHPVワクチン等の接種間隔は、互いに、片方のワクチンを受けてから2週間以上の間隔を空けてください。



村上市新型コロナワクチン接種コールセンター (8:30~19:00) ☎ 0570-001186

新型コロナワクチンQ&A (村上市新型コロナワクチン接種コールセンターにあったお問い合わせから)

Q ワクチンにはどのようなものがあるの？

A 病原体(ウイルスや細菌など)そのもの又は、病原体を構成する物質などをもとに作ったワクチンがあります。このワクチンを接種することで、その病原体に対する免疫ができます。mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチン、DNAワクチン、ウイルスベクターワクチンでは、ウイルスを構成するタンパク質の遺伝情報を投与します。その遺伝情報をもとに、体内でウイルスのタンパク質を作り、そのタンパク質に対する抗体が作られることで免疫を獲得します。今回、新型コロナウイルスの表面にあるタンパク質に対するワクチンが国内外で承認を受け、日本でも接種が開始されています。(出典：厚生労働省新型コロナワクチンQ&A)
※村上市の個別接種・集団接種で使用しているワクチンはファイザー社のmRNAワクチンです。

Q mRNAワクチンを打って血栓ができることはある？

A アストラゼネカ社やジョンソン・エンド・ジョンソン社が開発したウイルスベクターワクチンという種類のワクチンでは、非常にまれですが特殊な血栓症が起こることが報告されました。ファイザー社やモデルナ社のmRNAワクチンについては血栓症が増えるという報告はありません。

ワクチン接種に関して、差別・偏見・いやがらせは許されません！

◎新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症予防の効果が期待されていますが、体質や持病などの理由で接種できない人もいます。ワクチン接種は強制ではありません。効果と副反応(リスク)の双方について理解したうえで、ご本人のご希望により受けていただくものです。

◎ワクチンを受けていない人に対して、接種の強制や学校や職場等における不当な差別的取り扱いをすることがないようにお願いします。



Q mRNAワクチンを打ってから免疫はどれくらいの間持つの？

A 少なくとも6か月間は高い効果を保つことがわかってきています。ワクチンでついた免疫がどの程度持続するかについては、引き続き研究が行われている段階です。



Q mRNAワクチンを打って何年も経ってから副反応が出る可能性は？

A 一般的に、ワクチンの副反応はほとんどが接種をしてから6週間程度までに起こることが知られています。ワクチンは遺伝子に組み込まれずワクチンやそれによって作られるタンパク質が長期に体の中に残るとは考えにくいいため、何年も後になって副反応が起こる可能性は低いと考えられています。

出典：いま知っておきたい新型コロナワクチン (2021年7月1日発行)



「いま知っておきたい新型コロナワクチン」は市ホームページからご覧いただけます。スマートフォンからは、こちらの二次元バーコードをスキャンしてご覧ください。

！詐欺にご注意ください！

◎厚生労働省を装った不審メールが出回っていますが、本人の事前の同意を得ずに厚生労働省及び検疫所からメールをすることはありません。また、自治体をかたった偽メールも出回っており、自治体の窓口を確認するなど、十分注意してください。

▶不審な電話やメールは、すぐ切るか無視してください。
▶不審に思った時は、遠慮なくご相談ください。

消費者ホットライン (局番なしの3けた) 188
お近くの警察署または 警察安全相談電話 #9110



接種に関すること、接種予約などのお問い合わせ
村上市新型コロナワクチン接種コールセンター

☎ 0570-001186 (8:30~19:00)

インターネット
予約はこちらから



ワクチンパスポートの申請はこちらから



ワクチン接種協力者バンク登録はこちらから

